

母の好きな花くらい、 飾ってあげたかった。

「お母様の好きな花は何ですか？」

葬儀会社の担当者に聞かれて、ハッとしました。

そういえば、私は母のことを何も知らない。

好きな花も、好きな曲も、好きな言葉も。

母は、私の好きなものは

何でも覚えていてくれたのに。

何も思い出せないことが悲しかった。

『ピンクの花を飾ってね』

そんなひと言でもいい。たったひと言でも。

どんな小さなことでもいいから聞いておきたかった。

そうすれば、ずっと私のわがままばかり

聞いてくれた母の願いを、

最期にかなえてあげられたのに。

たったひと言の願いでも、

遺された家族は、叶えることで前を向ける。

ご葬儀のこと、考えはじめてみませんか。



いつでも気軽に相談できる窓口を開設しました。

経験豊かな専属スタッフが、葬儀の不安や悩みに
親身にお応えします。

☎ 0120-137-043
● 24時間 365日受付 ● ご自宅訪問もOK



©こつみPON
平安会館